

第6章 重点的な 整備による推進

- 1 緑と水の環境整備重点地区 124
- 2 緑化重点地区 127

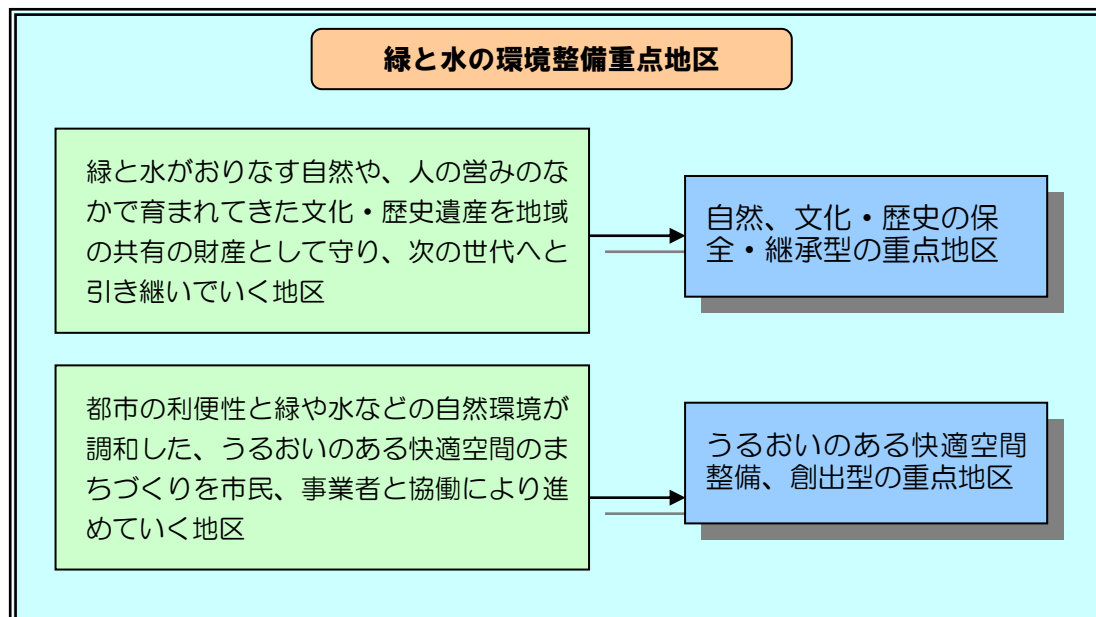
1 緑と水の環境整備重点地区

(1) 緑と水の環境整備重点地区による展開

「緑と水の公園都市」を実現していくうえでは、その具体的な実践例となるモデル地区を設定し、集中的に事業展開を図っていくことも必要です。「三鷹市緑と水の保全及び創出に関する条例」では、緑と水の環境整備を重点的に推進する必要がある地区を「緑と水の環境整備重点地区」に指定することができるとしています。この緑と水の環境整備重点地区の設定により、重点的な施策・事業の展開を図っていきます。

●「緑と水の環境整備重点地区」の指定の考え方

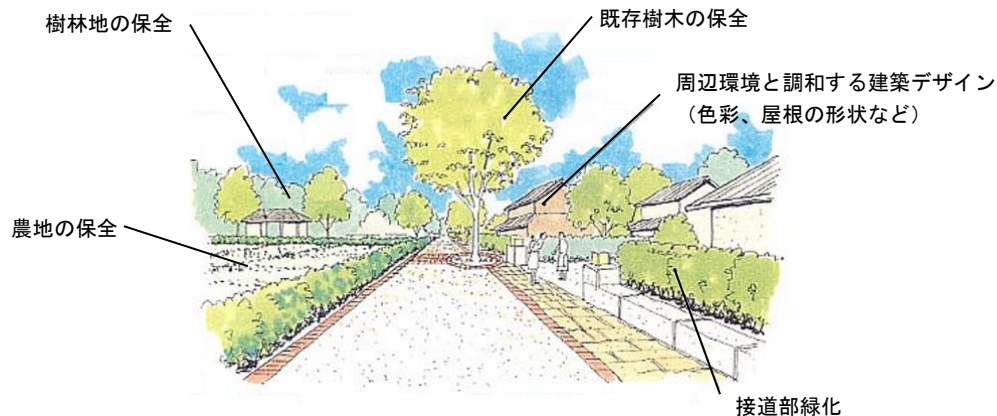
「緑と水の環境整備重点地区」は、本計画の基本方針に基づき、①自然や文化・歴史遺産を保全・継承していくために、緑と水の環境整備を重点的に講じる必要がある地区（保全・継承型の重点地区）、②都市の利便性と自然環境が調和した、うるおいのある快適空間を創出するために、緑と水の環境整備を重点的に講じる必要がある地区（整備・創出型の重点地区）を指定していきます。



また、「緑と水の環境整備重点地区」では、保全・創出、緑化・育成などの緑と水に関する施策を優先的に展開していくとともに、地区のテーマや課題に応じた施策を総合的かつ複合的に進めていきます。

- ①公園緑地の整備や公共施設の緑化・高品質化等の重点的な実施
- ②緑と水の保全や緑化推進に係る施策の重点的な展開
- ③緑と水に関する助成等の支援施策の拡充
- ④緑地協定等の締結の誘導

など



(2) 緑と水の環境整備重点地区の設定

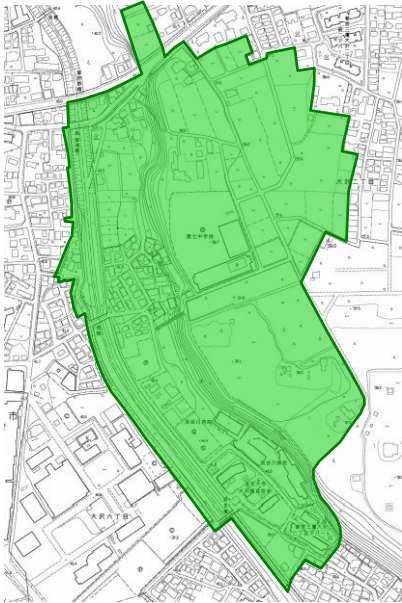
緑と水の拠点であり、緑地や農地などの地域資源が豊かで、多くの人々が緑と水に親しむレクリエーションや市民活動の広域的な核である「ふれあいの里」を緑と水の環境整備重点地区に指定し、里における緑と水の保全・創出を重点的に進めていきます。

また、「緑と水の環境整備重点地区」を指定する地区としては、ふれあいの里のほか次のようなものが考えられます。今後、地域のまちづくりの進捗状況をみながら「緑と水の環境整備重点地区」の指定を進めていきます。

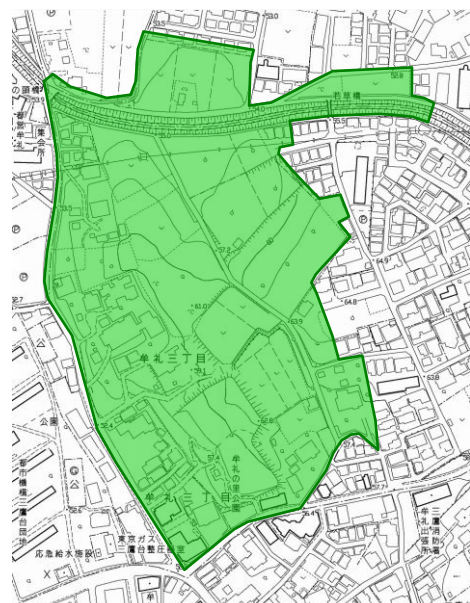
タイプ	指定地区のイメージ
保全・継承型 重点地区	ふれあいの里など、緑と水、文化・歴史遺産を一体的に保全・活用し、さらに育成していく必要がある地区
	地域の文化・歴史、湧水や三鷹の原風景を保全するために緑の保全や育成が必要とされる地区
整備・創出型 重点地区	市民の広場などの拠点となる施設を中心に、快適環境の整備、創出を図る地区
	密集した市街地など防災上の安全性の確保を図るまちの再構築にあわせて、緑と水の環境の整備、創出を図る地区
	土地利用の転換に伴う市民、事業者との協働によるまちづくりにより、緑と水の快適環境の整備、創出を図る地区
	緑や水に恵まれた住宅地において、今後も緑と水の快適環境を保全・育成していくことが求められる地区

■緑と水の環境整備重点地区

名称： 緑と水の環境整備大沢の里重点地区
位置： 大沢二丁目及び五丁目、六丁目地内
面積： 約23ha



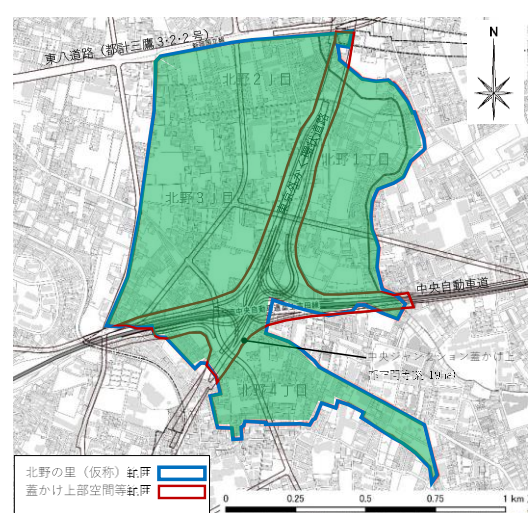
名称： 緑と水の環境整備牟礼の里重点地区
位置： 牟礼三丁目及び井の頭二丁目各地内
面積： 約7ha



名称： 緑と水の環境整備丸池の里重点地区
位置： 新川三丁目及び五丁目各地内
面積： 約7ha



名称： 緑と水の環境整備北野の里（仮称）重点地区予定
位置： 東京外かく環状道路中央ジャンクション（仮称）蓋かけ上部空間等とその周辺地域
面積： 約102ha

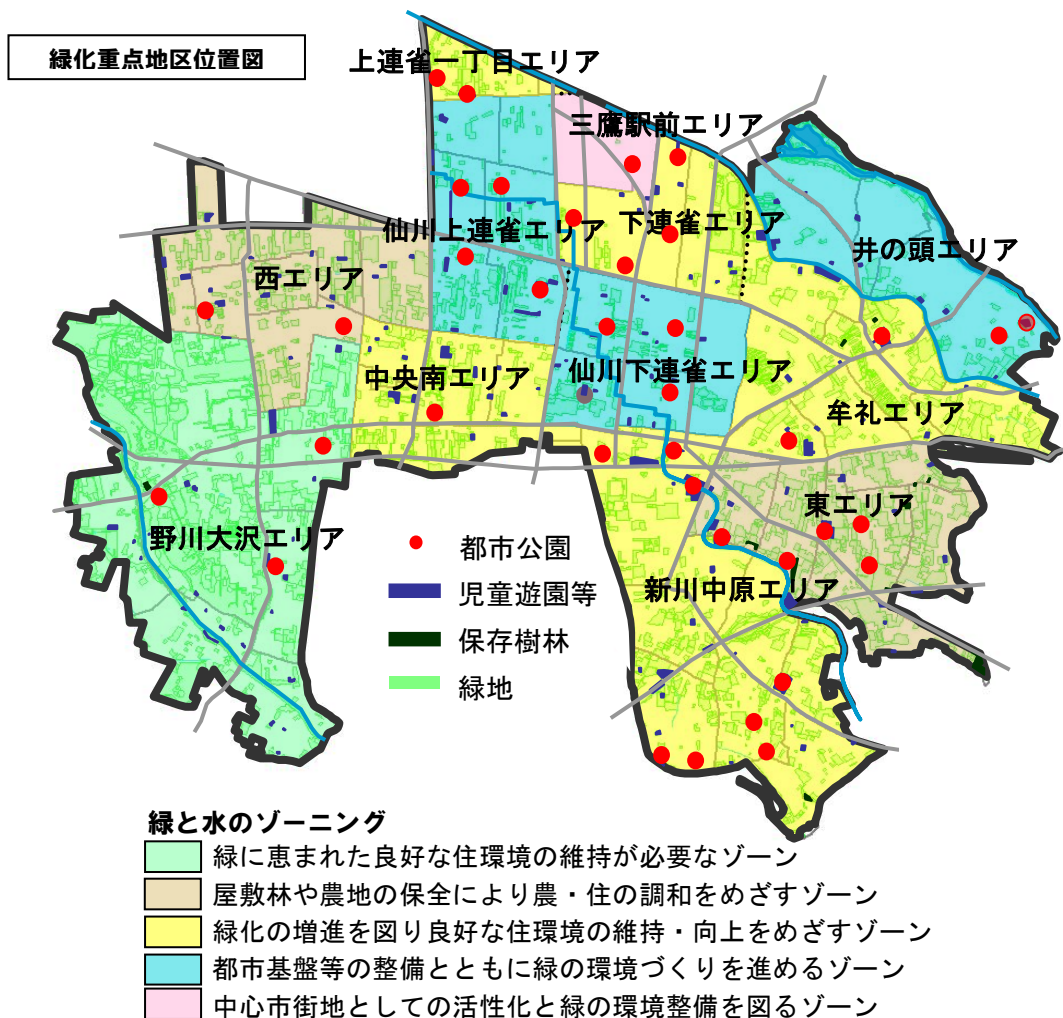


2 緑化重点地区

(1) 地域の特性に応じた施策の展開

市内でも地域によって土地利用や緑の状況は異なります。効率的かつ効果的に事業や施策の成果を発揮していくためには、それぞれの特性に応じた施策の展開を図っていく必要があります。また、全市的にみると、緑は全ての地域で減少傾向にあるとともに、一人当たりの公園面積が多摩地区の市部平均を下回っているなど公園の整備状況も周辺と比べて低く、緑の保全・整備と緑化の総合的な展開が求められています。

そこで、市域全体を「都市緑地法」に基づく「重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区（緑化重点地区）」に位置づけ、さらに、緑と水のゾーニングに応じてエリアを区分し地域の特性に配慮しながら、公園等の整備や緑の保全、緑化の推進を図っていきます。



【緑に恵まれた良好な住環境の維持が必要なゾーン】

◆野川大沢エリア（約 342ha）

①特性	・国際基督教大学や国立天文台などのまとまった緑が残り、市内で最も緑が多い。 ・野川や国分寺崖線など地区を特徴づける自然資源が存在している。 ・市内の樹林地・草地の多くが集中している。 ・緑の配置としては、国際基督教大学や国立天文台とその周辺の農地など、一団のまとまった規模の緑地として存在している。 ・生垣化率（生垣などの緑化された接道延長が、市内道路の接道延長に占める割合）の低い地域が多い。 ・小規模な公園が多く、また、500㎡以上の公園が身近に整備されていない地域がある。
②地区目標	豊かな緑や野川・湧水などの水環境の保全・活用を図り、自然と調和した良好な住環境づくりを進める。
③基本方針	○緑と水の保全 ・国分寺崖線やまとまりのある樹林地、野川の水辺や湧水などの水環境の保全と活用 ・営農への支援等による農地の保全と市民と農業との交流の場の創出 ・野川や湧水を活用しながらの身近なビオトープの整備 ・野川の自然性の向上など、河川環境の向上 ・市民に公開されたオープンスペースの確保 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・街路樹や河川緑化などの緑の修景整備 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・拠点公園となる大沢の里公園の整備・保全の推進 ・まとまった規模を有する公園の充実と身近な公園の整備 ・青少年広場などの借地公園の公有地化 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進

【屋敷林や農地の保全により農・住の調和をめざすゾーン】

◆西エリア（約 139ha）

①特性	・緑の量としては、緑被率がやや市全体値を上回っており、ほぼ市平均の量が確保されている。 ・緑地のほとんどが農地であり、樹林地は他地区と比較して低い。 ・緑の配置としては、農地がまとまって存在し、一団として相当の規模を有している。 ・公園数としては多いものの小規模な公園が多く、また、500 m²以上の公園が身近に整備されていない地域がある。 ・近年宅地化が進んでいる地域である。
②地区目標	農地や屋敷林などの樹林の保全を図り、農地と調和した良好な住環境づくりを進める。
③基本方針	○緑と水の保全 ・営農への支援等による農地の保全 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・街路樹等の緑の修景整備 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・まとまった規模を有する公園の充実と身近な公園の整備 ・借地公園の公有地化 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進

◆東エリア（約 154ha）

①特性	・緑の量としては多く、野川大沢地区に次ぐ高い緑被率となっている。 ・緑地の大半が農地で、市内で最も多くの農地が存在している。 ・緑の配置としては、農地がまとまって存在し、一団として相当の規模を有している。また、仙川沿いには、良好な自然環境が残っている。 ・規模の大きい公園があることから、公園の総面積としては比較的恵まれているが、小規模なものも多く、500 m²以上の公園が身近に整備されていない地域がある。 ・東京外かく環状道路及び中央ジャンクション部（仮称）の整備がエリア内で計画されている。 ・借地公園が多い。
②地区目標	農地や屋敷林などの樹林の保全と仙川の水環境の保全・活用を図り、農地と調和した良好な住環境づくりを進める。 東京外かく環状道路中央ジャンクション（仮称）による蓋かけ上部空間等及びその周辺を中心とした北野の里（仮称）の整備を進める。

③基本方針	○緑と水の保全 ・良好な屋敷林や北野ハピネスセンター周辺の緑と北野中央公園周辺の農地の保全 ・営農への支援等による農地の保全、市民と農業との交流の場の創出 ・仙川の河川環境の向上と湧水の保全、身近なビオトープの創出 ○北野の里（仮称）の整備 ・これまでの「ふれあいの里」の考え方に沿った整備の推進 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・街路樹や河川緑化などの緑の修景整備 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・拠点公園となる丸池の里公園の整備の推進 ・まとまった規模を有する公園の充実と身近な公園の整備 ・借地公園の公有地化 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進
--------------	--

【緑化の推進を図り良好な住環境の維持・向上をめざすゾーン】

◆新川中原エリア（約 239ha）

①特性	・緑被率は、市全体値を下回っている。 ・野川大沢地区に次いで樹林地が多く、農地を中心に多様な緑が比較的多く残っている。 ・緑の配置としては、比較的地区全体にまんべんなく存在している。 ・規模の大きい公園があることから、公園の総面積としては比較的恵まれているが、なかには公園が不足している地域が存在している。 ・規模の大きな借地公園が存在している。
②地区目標	農地や公園などの緑と仙川の水環境がづくりだす豊かな生活環境を保全しながら、住みよいまちづくりを進める。

③基本方針	○緑と水の保全 ・良好な樹林地や保全と営農への支援等による農地の保全 ・仙川の河川環境の向上と湧水の保全、身近なビオトープの創出 ○東京外かく環状道路事業に伴う緑地整備 ・東京外かく環状道路及び中央ジャンクション（仮称）の整備に伴う、蓋かけ上部空間等及びその周辺における緑の保全と整備の推進 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・街路樹や河川緑化などの緑の修景整備 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ・環境センター跡地等における適切な利活用の検討と緑化の保全及び推進 ○公園等の整備 ・拠点公園となる丸池の里公園の整備の推進 ・まとまった規模を有する公園の充実と身近な公園の整備 ・新川あおやぎ公園などの借地公園の公有地化及び整備 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進
--------------	---

◆中央南エリア（約98ha）

①特性	・緑被率は、市全体値を下回っている。 ・地区内の緑地は農地が中心を占めている。 ・緑の配置としては、一団の農地が数箇所存在している。 ・公園数が多いが規模が大きな公園が少なく、地区の公園面積は市全体値を下回っている。 ・都市公園は1箇所しかなく、地区の核となる公園が不足している。
②地区目標	地域の整備改善を図りながら、公園の充実や宅地の緑化を推進し、住宅地としての良好な環境づくりを進める。
③基本方針	○緑と水の保全 ・営農への支援等による農地の保全 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・街路樹等の緑の修景整備 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・まとまった規模を有する公園の充実と地域の核となる公園の整備 ・借地公園の公有地化 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進

◆牟礼エリア（約 169ha）

①特性	・緑の総量としては、ほぼ市全体の平均的な量となっている。 ・地区内の緑地の約半分を農地が占めている。 ・玉川上水を軸に都立井の頭恩賜公園や玉川上水緑地のまとまった樹林地が存在している。 ・地区の公園面積は市全体値を下回っており、また、公園数が少なく、身近に整備されていない地域がある。 ・規模の大きな借地公園が存在している。
②地区目標	地域の整備改善を図りながら、公園の充実や宅地の緑化を推進するとともに、玉川上水を生かした住環境づくりを進める。
③基本方針	○緑と水の保全 ・玉川上水や樹林・屋敷林の保全 ・営農への支援等による農地の保全、市民と農業との交流の場の創出 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・街路樹等の緑の修景整備 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・拠点公園となる牟礼の里公園の拡張等の推進 ・まとまった規模を有する公園の充実と身近な公園の整備 ・借地公園の公有地化 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進

◆下連雀エリア（約 85ha）

①特性	・緑被率は、市全体値を下回っている。 ・地区内の緑の多くが都立井の頭恩賜公園に緑地が集中している。また、小規模な樹林が比較的地区全体に点在していることが特徴的となっている。 ・都立井の頭恩賜公園以外に地区の核となる規模の公園がない。
②地区目標	良好な住環境を維持しながら、公園の充実や宅地の緑化を推進し、緑豊かな環境づくりを進める。
③基本方針	○緑と水の保全 ・玉川上水や点在する樹林の保全 ○緑化の推進 ・接道緑化及び屋上緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・街路樹等の緑の修景整備 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・まとまった規模を有する公園の充実と地域の核となる公園の整備 ・借地公園の公有地化 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進

◆上連雀一丁目エリア（約 25ha）	
①特性	・緑被率は、やや市全体値を下回っている。 ・地区内の緑地は農地が中心を占めている。 ・緑の配置としては、地区南側に一団の農地があるほか、堀合遊歩道・玉川上水の樹木と農地が分散して存在している。 ・地区の一人当たりの公園面積は最も高いが、児童遊園などの身近な公園が不足している。
②地区目標	農地の保全と良質な住環境を中心とした開発が調和するまちづくりを進める。
③基本方針	○緑と水の保全 ・玉川上水の保全 ・営農への支援等による農地の保全 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・街路樹等の緑の修景整備 ・開発等にあわせた緑化の推進 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・開発等にあわせた公園の確保 ・身近な公園の整備 ・回遊ルートの整備推進

【都市基盤の整備とともに緑の環境整備づくりを進めるゾーン】

◆仙川上連雀エリア（約 123ha）

①特性	・緑被率は、市全体値を下回っている。 ・地区内の緑地は農地が中心を占めている。 ・緑の配置としては、地区南側に一団の農地が存在している。 ・生垣化率（生垣などの緑化された接道延長が、市内道路の接道延長に占める割合）が高い地域が多い。 ・地区の一人当たりの公園面積は、市全体値を上回っている。 ・公園数も多く、また、500㎡以上の公園も比較的整備されているが、これらが集中して存在しているため、身近な公園が不足している地域がある。
②地区目標	地区の防災性の向上と仙川の環境整備を図り、安全でうるおいのある住環境づくりを進める。
③基本方針	○緑と水の保全 ・営農への支援等による農地の保全 ・仙川の環境整備と水辺空間の創出 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・都市計画道路事業にあわせた街路樹の整備など緑の修景整備 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・まとまった規模を有する公園の充実と身近な公園の整備 ・仙川と一体となった公園の整備と水辺空間の創出 ・借地公園の公有地化 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進

◆仙川下連雀エリア（約 108ha）

①特性	・緑被率は、三鷹駅前エリアに次いで低い値となっている。 ・地区内の緑地は、主に学校の緑と農地となっている。 ・工場や事業所が集積し、緑地が存在しない地域がある。 ・公園数が多いが小規模なものが多く、地区の一人当たりの公園面積・都市公園面積が、市全体値より大きく下回っている。また、地区の核となる公園が不足している。
②地区目標	住工が混在する地域の環境改善と仙川の環境整備を図り、住工が調和し、仙川の水を感じられる快適な住環境づくりを進める

③基本 方針	○緑と水の保全 ・営農への支援等による農地の保全 ・仙川の環境整備と水辺空間の創出 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・工場や事業所における緑の確保 ・土地利用の転換にあわせた緑化の誘導 ・街路樹等の緑の修景整備 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・まとまった規模を有する公園の充実と地域の核となる公園の整備 ・土地利用の転換にあわせた公園の確保 ・仙川の環境整備と一体となった公園の整備 ・借地公園の公有地化 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進
-----------	---

◆井の頭エリア（約 135ha）

①特性	・緑被率は、市全体値を下回っている。 ・都立井の頭恩賜公園や玉川上水、神田川など、緑と水の資源に恵まれた地区となっている。 ・地区内の緑は、公園や水辺に関するものが多く、その他としては地区東部を中心に農地が存在している。また、地区西部には、小規模な樹林が点在している。 ・広域公園となる都立井の頭恩賜公園があるものの市立公園は少なく、また、小規模公園がほとんどであり、地区の核となる公園が不足している。 ・地区内で公園の配置が偏在しており、身近な公園が不足している地域がある。
②地区 目標	地区の防災性の向上と玉川上水・神田川等の緑と水の地域資源を生かしたまちづくりにより、安全でうるおいのある環境づくりを進める。
③基本 方針	○緑と水の保全 ・営農への支援等による農地の保全 ・玉川上水の保全 ・神田川の自然性の向上などの環境整備 ○緑化の推進 ・接道緑化に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・公園などの拠点施設周辺における沿道部の緑化の推進 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・まとまった規模を有する公園の充実と地域の核となる公園・身近な公園の整備 ・借地公園の公有地化 ・老朽化した公園のリニューアルによる再生 ・回遊ルートの整備推進 ・ポケットパーク等の整備及び管理

【中心市街地としての活性化と緑の環境整備を図るゾーン】

◆三鷹駅前エリア（約33ha）

①特性	・最も緑が少ない地区で、農地・草地在存在していない。 ・地区の一人当たりの公園面積・都市公園面積が、市全体値より大きく下回っている。 ・公園数が少なく、また、地区の核となる公園、身近な公園が共に不足している。
②地区目標	再開発事業などの地域の再生にあわせた緑の創出など、中心市街地としての活性化とともに緑の環境づくりを進める。
③基本方針	○緑と水の保全 ・玉川上水の保全 ○緑化の推進 ・接道緑化及び屋上緑化等に対する支援の推進などによる宅地内緑化の推進 ・接道緑化及び屋上緑化など多様な緑化による緑の創出 ・市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化 ○公園等の整備 ・まとまった規模を有する公園の充実と地域の核となる公園・身近な公園の整備 ・協同建替えなどのまちづくり事業と連携した公園やポケットパークの設置 ・玉川上水を生かした緑の小ひろばの活用 ・屋上や壁面などを含めた屋外を活用した緑の空間の創出、多様な利用が可能な広場の整備 ・回遊ルートの整備推進